



食生活改善推進員と一緒に調理 郷土食づくりで食文化を学ぶ

昔から今に伝わる郷土食を学ぶ「食育講習会」が12月9日と10日、葛巻高校1年生を対象にくずま〜る調理室で行われました。

生徒たちは食生活改善推進員の指導のもと、ひつつみ、なます、おから炒りの3品の郷土食づくりに挑戦。食生活改善推進員に野菜の切り方やひつつみ生地の伸ばし方など積極的に質問し、会話を交わしながら調理していました。出来上がった料理を食べた生徒らは「おいしい」と口にし、箸が止まらない様子でした。会の終わりには、生徒から「たくさんの食材が入っていておいしかった」「初めて作った。家でも作ってみたい」と感想が聞かれ、食生活改善推進員らと一緒に郷土食づくりに取り組んだことで、町の食文化を実感するとともに、地域住民とのつながりも深めました。



1生地を薄く伸ばす方法を聞く高校生たち 2食生活改善推進員の手ほどきを受けながら調理 3完成した3品（上からおから炒り、なます、ひつつみ）

家庭クラブの生徒がサンタに変身 プレゼントと笑顔届ける



12月16日と17日、葛巻高校の家庭クラブ委員の生徒ら4人が保育園を訪問し、子どもたちにプレゼントを届けました。

葛巻高校では、家庭科の授業で制作した壁面飾りを届けながら、地域の子もたちと直接触れ合うことのできる場として毎年実施。将来保育士を志す生徒が参加するなど、高校生にとって貴重な経験となっています。

17日、葛巻保育園では年長の園児13人が元気にお出迎え。サンタとトナカイに扮した高校生は、園児一人一人にプレゼントを手渡しました。園児からもお礼のメッセージカードが用意され、高校生も自然と笑顔がこぼれていました。熊谷薫さん（1年）は「初めての経験で緊張したけれど、笑顔で迎え入れてくれてうれしかった」と充実感をにじませていました。



かりん
谷地 榊林（2年）

初日の早朝、誰も寝坊することなく出発できたことに、まずは一安心。京都駅に着いた瞬間、葛巻町と全く異なる町並みを目の前にして、日本国内での文化の違いを改めて実感しました。なにより京都の町の美しさに胸が高鳴りました。

My BEST MEMORY

1番の思い出は「自主研修」です。私の班は京都市内の旅館から伏見稲荷大社→京都駅→東寺→西本願寺→錦市場→祇園を巡りました。時間が限られている中で、迷子にならないように仲間たちと協力できました。しかし絶体絶命のピンチ



5
千本鳥居が庄巻だった伏見稲荷大社

に陥ります。西本願寺で友達がスマホを落としてしまったのです。全員がパニックになっていたとき、心優しい外国の方がスマホを拾って届けてくれました。そのとき「思いやり」は万国共通だと実感しました。

ピンチを一緒に切り抜けたことで、より絆が深まった仲間とは、将来また一緒に京都を訪れ、思い出を振り返る旅がしたいです。



清水寺での集合写真
元気にピース！

高校生記者 レポート

修学旅行特集

葛巻高校の2年生が11月28日から12月1日までの4日間、関西方面へ修学旅行へ行ってきました。スローガンは「絆を深める旅」。生徒たちの絆は深まったのでしょうか。

こはる
角 紅春（2年）



京都に着いたときに、都会的な建物、そして歴史を感じる建物もある町並みから葛巻町とは違った雰囲気を感じ、感動しました。

My BEST MEMORY

特に思い出に残っているのは清水寺とユニバーサルスタジオジャパンです。

清水寺は、向かうまでの参道が観光客でにぎわっており、歩くことすら大変でした。しかし、

ちょうど夕日が沈む時間で、赤く染まった清水寺やそこから見える京都の町の景色がとてもきれいで、記憶に残っています。



清水寺からの景色

清水寺以上に楽しみにしていたのが、ユニバーサルスタジオジャパンです。それぞれ好きなカチューシャを付けて写真を撮ったり、気になるフードを



USJのかわいいフード

食べたり、お土産を買ったり。やりたいと思っていたことを全てやり尽くしました。途中、友達とはぐれてしまいうパニングもありましたが、無事に合流することが

でき、それも含めて思い出になりました。

修学旅行では、周りをよく見て行動すること、思いやりの大切さを改めて実感することができました。これからもこの思い出と仲間を大事にしていきたいです。